地震時の迅速な初動判断を支え、BCPの実効性を高める

# クラウド地震計One

## LTE搭載のIoT地震計を活用した“クラウド地震計”サービス

**各施設** → **本部** → **各担当**



建物に設置された地震計で
揺れを計測




クラウドで各施設の
被害状況を一元管理



担当者に被害状況を
メール通知



APIを用いた
データ連携も可能

## 地震の後、初動対応が遅れる理由

### 1 状況が分からない

地震発生時、どの建屋や設備が危険かわからない。震度計を確認するために安全が確認できていない建屋に立ち入る必要がある。

その結果…
点検の優先順位が決まらない

### 2 報告が上がらない

被害状況の把握や報告が人手に依存しており、本部判断や他工場への支援判断が遅れる。

その結果…
設備停止判断が遅れる

### 3 対策が浸透しない

大地震の発生頻度が低いため、BCPの対応手順が浸透しておらず、初動対応が遅れる。

その結果…
BCPが機能しない



## 「クラウド地震計One」が、これらの課題を解決します！



### 拠点・建屋毎の揺れを可視化

LTE搭載のIoT地震計で、震度・SI値・最大加速度をリアルタイムで自動取得

「立ち入る／立ち入らない」の
一次判断が遠隔で可能

### 関係者へ自動通知

閾値に応じた自動通知機能

「確認 → 報告」を自動化し、
初動対応を高速化

### 平常時からBCP運用を定着

メッセージカスタマイズによる
初動対応指示

既存のBCPや災害対応
フローに組み込みやすい

# クラウド地震計Oneの特徴

### 各種対応指標を可視化
震度・SI値・最大加速度などの対応判断指標を可視化

### オールインワン
IoT地震計、管理クラウドとメール通知機能を標準提供

### 後付け かんたん設置
LTE通信内蔵。小型・軽量設計で、大掛かりな工事は不要

### 自動通知
メール一斉通知に加え、ビジネスチャットツールへの通知にも対応

### 1台から 最短2週間
まず1拠点からスモールスタートが可能

## 初動対応は、こう変わる

| | 導入前 属人的 | 導入後 データに基づき判断 |
|---|---|---|
| 状況把握 | 現場に行かないと分からない | 拠点・建屋ごとの揺れを遠隔で可視化 |
| 判 断 | 気象庁震度で“何となく” | 実測の震度・SI値・加速度で客観判断 |
| 報 告 | 電話やメールで人伝い | 閾値を超えたら関係者へ自動通知 |
| BCP運用 | 運用が浸透しない | 小規模地震から通知を受信することで運用が定着 |

## 全国600以上の施設に導入！

### 工場・製造業
建屋別に揺れを把握し「立ち入る/立ち入らない」を遠隔で一次判断することで、工場の稼働停止時間を短縮。




**JFEスチール 株式会社様**
地震後の所内震度報告の効率化と初動対応迅速化

### 中低層ビル・施設管理
管理者不在でも本部から複数物件を一元把握。テナントへの説明根拠に。




**日鉄興和不動産 株式会社様**
建物規模に応じた被災度判定システムの構築

### 多拠点企業のBCP
各拠点の被害を本社に自動集約。エビデンスに基づいて支援優先度・事業継続/停止を意思決定。




**トラスコ中山 株式会社様**
全国の物流センターの被害状況を一元管理

## まずは1台から。貴社の状況に合わせてご提案します。

「クラウド地震計One」のWebサイトはこちら

※このカタログに記載された仕様・デザインは予告なしに変更することがあります。 ※このカタログの記載内容は2026年10月9日現在のものです。


HAKUSAN

[お問い合わせ]
白山工業株式会社 MAIL iot-pj@hakusan.co.jp TEL 042-333-0080
https://www.hakusan.co.jp/solution/bosai/cloudquake_one/